

平成 29 年度 事業計画書

1 事業実施方針

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定に基づき産業廃棄物の適正処理を行うとともに、廃棄物の適正処理に関する啓発やリサイクルの推進・普及及び施設周辺の自然環境保全や希少植物の保護事業に取り組むなど、安全で安心な生活環境の保全を促進するため、次の事業を積極的に推進する。

2 廃棄物処理事業（定款第 4 条第 1 号及び第 2 号関係）

実 施 項 目	目 標
処理場の適正な運営・管理の推進 ① 廃棄物の処理については関係法令を遵守し適正に処理する。 ② 廃棄物排出業者等から廃棄物の動向や受入れ要望を把握し、廃棄物の処理需要に即した処理・対応を行う。 ③ 環境・水質調査の実施による環境影響の継続的監視を行う。	受入目標量40,000t (別表「廃棄物処理計画」) 動向等把握の実施 基準超過 0 件

3 廃棄物の適正処理の啓発及びリサイクルの推進・普及事業（定款第 4 条第 3 号及び第 4 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 廃棄物の適正処理に関する啓発 ① ホームページ等により産業廃棄物の適正処理に関する解説・説明を行うほか、受入廃棄物の性状確認のため排出事業者へ検査成績書の提出を求めるなどにより廃棄物の適正処理を促進する。 ② 視察者の受け入れや施設公開の実施を通じて、廃棄物の処理方法や公害防止の取組状況等を紹介するほか、環境測定結果等に関する情報提供などにより生活環境の保全についての啓発を行う。	ホームページ更新 2回/月以上 8月 施設公開
(2) リサイクルの推進・普及 ホームページ等を通じて、リサイクル事例やリサイクル推進の取組事例を紹介することなどによりリサイクルの推進・普及を図る。	事例紹介 1回/年以上

4 自然環境保全等事業（定款第 4 条第 5 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 施設周辺自然環境保全 廃棄物処理施設の整備時に移植した樹木を適切に管理するとともに、センター周辺道路等の環境美化活動等を実施し、自然環境の保全を行う。	環境美化活動 2回(春・秋)実施
(2) 希少植物保護 自生する植物の生態系保護活動の一環としてビオトープに移植した希少植物の生育状況を定期的に観察するとともに、地元小学生や地域住民と一緒に環境保全の大切さを学ぶ環境学習の機会として観察会を開催する。	8月 観察会開催

5 管理業務等（定款第 4 条第 6 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 公共関与型産業廃棄物最終処分場整備事業 環境影響評価手続きと並行して、実施設計、用地取得業務に着手するなど、整備事業に着手する。	・環境影響評価準備書 ・実施設計、用地取得業務
(2) C区画の供用開始 A、B区画の浸出水低減対策・トレーサー試験を行い、C区画を供用開始する。	・浸出水低減対策工 ・放流設備調査
(3) 浸出水処理水放流設備の更新等調査 (4) 焼却業務の休止に伴う焼却施設の解体	・解体工事着手

平成29年度 収支予算書（損益計算書ベース）

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

総括

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額 (※補正後の予算)	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	1	2	△ 1	
② 事業収益				
処理事業収入	913,000	934,000	△ 21,000	
処理事業収入(建設基金振替)	1,000	823	177	
③ 受取補助金等				
受取補助金	216	216	0	
受取補助金等振替額	81,550	80,315	1,235	
④ 雑収益				
受取利息	225	225	0	
雑収益	1,500	1,208	292	
経常収益計	997,492	1,016,789	△ 19,297	
(2) 経常費用				
① 事業費	(618,938)	(558,096)	(60,842)	
役員報酬	3,166	2,970	196	
給料手当	16,417	17,084	△ 667	
臨時雇賃金	10,200	9,023	1,177	
退職給付費用	1,776	2,027	△ 251	
福利厚生費	6,472	5,736	736	
賞与引当金繰入額	1,377	1,252	125	
旅費交通費	1,000	561	439	
通信運搬費	2,680	2,692	△ 12	
減価償却費	290,733	279,725	11,008	
消耗品費	24,084	22,548	1,536	
修繕費	30,100	19,315	10,785	
点検料	17,354	14,743	2,611	
燃料費	4,600	3,459	1,141	
光熱水料費	24,036	19,995	4,041	
賃借料	1,515	1,924	△ 409	
保険料	9,605	9,588	17	
租税公課	20,133	20,638	△ 505	
支払負担金	22,413	21,514	899	
支払利息	16,087	18,507	△ 2,420	
手数料	3,790	1,146	2,644	
委託費	108,493	82,405	26,088	
貸倒引当金繰入	2,000	0	2,000	
その他 事業費	907	1,244	△ 337	
② 管理費	(9,667)	(10,122)	(△ 455)	
役員報酬	3,760	3,262	498	
給料手当	2,007	2,836	△ 829	
退職給付費用	198	344	△ 146	
福利厚生費	812	964	△ 152	
賞与引当金繰入額	207	326	△ 119	
旅費交通費	200	145	55	
減価償却費	933	858	75	
光熱水料費	84	121	△ 37	
租税公課	175	176	△ 1	
手数料	990	842	148	
その他 管理費	301	248	53	
経常費用計	628,605	568,218	60,387	
当期経常増減額	368,887	448,571	△ 79,684	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
損害賠償金	5,000	4,492	508	
経常外収益計	5,000	4,492	508	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	27,806	100	27,706	
電気伝導率対策費用	0	96,458	△ 96,458	
電気伝導率対策引当金繰入	0	1,827	△ 1,827	
経常外費用計	27,806	98,385	△ 70,579	
当期経常外増減額	△ 22,806	△ 93,893	71,087	
税引前当期一般正味財産増減額	346,081	354,678	△ 8,597	
法人税・住民税及び事業税	82	57,500	△ 57,418	
法人税等調整額	127,604	47,990	79,614	
当期一般正味財産増減額	218,395	249,188	△ 30,793	
一般正味財産期首残高	3,002,750	2,753,562	249,188	
一般正味財産期末残高	3,221,145	3,002,750	218,395	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	81,550	80,315	1,235	
当期指定正味財産増減額	△ 81,550	△ 80,315	△ 1,235	
指定正味財産期首残高	769,597	849,912	△ 80,315	
指定正味財産期末残高	688,047	769,597	△ 81,550	
III 正味財産期末残高	3,909,192	3,772,347	136,845	